

FASF 第 12 回基準諮問会議を開催

2011年2月3日、財務会計基準機構（FASF）において基準諮問会議（議長 西村義明東海ゴム工業(株)代表取締役社長）を開催し、2つのテーマについて審議が行われました。審議の様様は以下のとおりです。

(1) 企業会計基準委員会（ASBJ）の最近の活動状況について

都 ASBJ 常勤委員より、プロジェクト計画表の更新（本誌第 32 号 204 ページ参照）及び国際会計基準審議会（IASB）に対する意見発信等について報告が行われました。プロジェクト計画表の更新については、大きなスケジュール感に変更はないものの、12月までに公開草案などを公表しようとしていたプロジェクトの中で、もう少し検討の時間が必要なものについてスケジュールの見直しを行っている旨の説明がありました。

続いて都 ASBJ 常勤委員より、2010年12月22日に公表された「四半期財務諸表に関する会計基準等の改正」に関する公開草案の内容、市場関係者との意見交換会の開催などについて説明が行われました。

その説明に関し、委員より市場関係者との意見交換の場を積極的に設けることは評価できるので、是非関係者へのフィードバックもお願いしたいとの要望があり、ASBJ として継続的な取組みとしていきたいとの説明がありました。

また、委員より単体財務諸表に関する会計基準の開発プロセスに関する質問があり、連結先行の考え方を踏まえ、現在 FASF 内に単体財務諸表に関する検討会議を開いて作成者、利用者双方の立場からの意見をベースに検討している旨の説明がありました。

(2) 平成 22 年度アンケート調査結果に関する現状の取組みと今後の対応方針について

都 ASBJ 常勤委員より、平成 22 年度アンケート調査結果に関する現状の取組みと今後の対応方針について報告がなされました。

その報告に関し、まず委員より、アンケート調査結果へのフィードバックを実施したことを評価する声が寄せられました。

その他委員より、連結先行について ASBJ は民間の立場として、外に向けてメッセージを発信していてもいいのではないかと意見があり、ASBJ より会社法や税法はそれぞれ立法主旨があり、会計基準のためにそれらを変更することができないという制約の中で市場関係者の多数の理解を得つつ進めていきたいとの説明がありました。

また、委員より IFRS の解釈や実務上の適用に関するサポートについて質問があり、ASBJ からは、ASBJ が設置した IFRS 実務対応グループで年に 2 回アンケートをとり、それをもとに IASB の共同会議で議論を行うなどサポート活動を行っている旨の説明がありました。